

1 単元名 2年 お話のじんぶつとじぶんをくらべて読もう
 教材名 「わたしはおねえさん」(光村図書 2年下)

4年 物語を読んで、感想をまとめよう
 「三つのお願い」((光村図書 4年下)

〈主となる指導事項〉
 ◎場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。
 (読むことウ 文学的な文章の解釈に関する指導事項)

〈主となる指導事項〉
 ◎場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。
 (読むことウ 文学的な文章の解釈に関する指導事項)

〈付けたい力〉
 ◎文章の内容と自分を比べながら、心に残ったことをまとめる力。

〈付けたい力〉
 ◎登場人物の性格や気持ちの変化などを、叙述を基に想像して読み、心に残ったことが叙述とどう関連しているのかを明らかにしながら読む力。

〈単元を貫く言語活動〉
 すみれちゃんの行動と自分を比べ、心に残ったことをすみれちゃんに手紙で伝える。

〈単元を貫く言語活動〉
 感想がどの叙述に基づいているかを明らかにしながら感想を書く。

2 単元について

(1) 児童について
 児童は、これまで場面の様子や人物の行動を読み取り、それを動作化したり、ペープサートで表したりする学習をしてきた。授業者と話し合いながら根拠となる言葉に気付くようになってきたが、想像を広げて読むことは十分ではない。この単元では、登場人物の行動を中心に想像を広げ、自分と比べて読む力を付けさせたい。

(2) 教材について
 本教材は、等身大の主人公が、妹の幼さを理解し寄り添うことができるようになったことを描いた作品である。2年生の誇らしさや揺れる気持ちが児童の視点から描かれており、自分と比べて読む言語活動に適している。

(3) 指導の手立て
 自分より年下の子と交流した経験が少ない子がいるので、単元に入る前にすみれちゃんシリーズの本を1冊読ませておく。導入時に、自分と比べたことをすみれちゃんに手紙で教えていくことを確かめる。2次では、すみれちゃんの行動を中心に想像を広げ、心に残ったことを手紙ですみれちゃんに教える。その際、自分と比べたことも手紙に書かせる。3次では、2次の学習を思い出しながら、並行読書した本のすみれちゃんにも手紙を書く。書いた手紙は、4年生にも紹介して感想をもらい、交流する楽しさが感じられる場を設定したい。

【手立て①自分の考えや思いを明確にさせる指導の工夫】
 根拠となる文章や言葉にサイドラインを引かせて、考えや思いの根拠を明確にする。

【手立て②考えや思いを交流し合う場の工夫】
 教材や考えを視覚化して交流しやすくする。

【手立て③学びのよさを実感させる振り返りの工夫】
 同学年、異学年のペアで学んだことを交流させ、学習したことを交流する楽しさや複式で学ぶよさを感じさせる。

(1) 児童について
 児童は、これまで登場人物の気持ちの変化を読み取り、それを音読で表したり、カードにまとめて紹介したりする学習をしてきた。考えの根拠となる叙述を選ぶことはできるようになってきたが、そこから想像して考えることは十分ではない。この単元では、叙述から登場人物の性格や気持ちの変化を想像し、心に残ったことがどの叙述と関連しているかを明らかにしながら読む力を付けさせたい。

(2) 教材について
 本教材は、等身大の少年と少女の友情が描かれた作品である。地の文が、一人称の視点で書かれており、人物の性格や気持ちの変化が想像しやすく、感想をまとめる言語活動に適している。

(3) 指導の手立て
 導入時に、読んで心に残ったことを、感想文に書いてまとめることを確かめる。2次では、登場人物の性格や気持ちの変化を読み取る。3次では、読み取った中で、一番心に残ったことを叙述と関連づけてまとめる。その際、感想を書くときに使ってみたい言葉を選び、それを使いながら感想文を書く。また、自分の選んだ本の感想もまとめる。書いた感想は友達と交流してお互いの違いや良さを認め合ったり、2年生にも分かるように紹介したりして、自分の思いをまとめることやそれを交流することの楽しさが感じられる場を設定したい。

3 単元の日標

<p>(1) 関心・意欲・態度 ○等身大の人物が描かれた物語を、興味をもって読もうとする。</p> <p>(2) 読むこと ◎登場人物の行動や場面の様子から想像を広げ、自分と比べて読むことができる。 (Cウ)</p> <p>(3) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ・主語と述語の関係に注意することができる。 (イ (カ))</p>	<p>(1) 関心・意欲・態度 ○等身大の人物が描かれた物語を、興味をもって読もうとする。</p> <p>(2) 読むこと ◎登場人物の性格や気持ちの変化などについて、叙述を基に想像して読むことができる。(Cウ) ○読んで考えたことを発表し合い、感じ方の違いに気付くことができる。(Cオ)</p> <p>(3) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ・感想を表すときに使う言葉や表現を増やすことができる。(イ (オ))</p>
--	---

4 単元の評価規準

<p>(1) 国語への関心・意欲・態度 ○同年代の主人公が出てくる物語を、自分と比べながら、読もうとしている。</p> <p>(2) 読む能力 ◎すみれちゃんの行動を中心に想像を広げ、すみれちゃんと自分を比べながら読んでいる。</p> <p>(3) 言語についての知識・理解・技能 ・主語と述語の関係に注意をしながら文章を読んでいる。</p>	<p>(1) 国語への関心・意欲・態度 ○同年代の主人公が出てくる物語を、感想をもちながら読もうとしている。</p> <p>(2) 読むこと ◎登場人物の会話や行動、地の文から性格や気持ちの変化などを想像しながら読んでいる。 ○物語を読んだ感想を交流し、一人一人の感じ方の違いに気付いている。</p> <p>(3) 言語についての知識・理解・技能 ・感想を表すときに使う言葉や表現を選びながら文章を書いている。</p>
---	---

5 関連と発展「読むこと」(文学的文章)

〈1年〉

「だっただってのおばあさん」
・好きなどころを見つけて読む。

〈2年〉

「黄色いバケツ」
・人物に手紙を書く。

「お手紙」

・人物の行動や会話に注意して音読劇をする。

「わたしはおねえさん」

・文章の内容と自分を比べて手紙を書く。

「スーホの白い馬」

・あらすじを入れて、物語を紹介する。

〈3年〉

「海をかつとばせ」

・読んで、考えたことを発表する。

〈3年〉

「ちいちゃんのかげおくり」
・人物の気持ちを考えながら感想をまとめる。

〈4年〉

「一つの花」
・特別な意味をこめた言葉に着目して本を紹介する。

「ごんぎつね」

・登場人物の行動や気持ち、関係の変化について感想を交流する。

「三つのお願い」

・物語を読んで感想をまとめる。

「初雪のふる日」

・叙述と比べて場面ごとの感想を書き出す。

〈5年〉

「のどがかわいた」

・人物像と人物どうしの関わりに気をつけて読む。

6 単元の指導計画（2年 全9時間）

次	時	目標	学習活動	評価基準【評価方法】
第一次	1	・「わたしはおねえさん」を読み、学習の見通しをもつことができる。	・1年生の時と比べ、自分が成長したと思うことを発表する。 ・すみれちゃんへのお手紙（モデル文）を読んで、手紙を書くことに興味をもつ。	(関) すみれちゃんに手紙を書くことに興味をもっている。 【振り返り】
	2	・話の大まかな内容をとらえることができる。	・挿絵の並べ替えをしながら、話の流れが分かる。	(読) 挿絵を見ながら、友達にお話を説明している。【振り返り】
第二次	3	・心に残った言葉や文を見つけることができる。	・心に残った言動を見つけ、カードに書く。	(読) 心に残ったすみれちゃんの言動を見つけ、カードに書いている。 【カード】
	4	・がんばるおねえさんになりたいと思っているすみれちゃんと自分を比べて手紙を書くことができる。	・すみれちゃんの歌から、どんなおねえさんになりたいと思っているのかを読み取り、自分と比べて手紙を書く。	(読) 歌から、すみれちゃんのお姉さん像や喜びを想像し、自分と比べて手紙を書いている。 【手紙】
	5	・りっぱなことをしようとしているすみれちゃんと自分を比べて手紙を書くことができる。	・りっぱなこととしてどんなことをしたのかを読み取り、自分と比べて手紙を書く。	(読) 自分でノートを広げたり、水をあげたりするすみれちゃんと自分を比べて手紙を書いている。 【手紙】
	6	・落書きを見て動揺するすみれちゃんと自分を比べて手紙を書くことができる。	・落書きを見ているすみれちゃんの思いを想像し、自分と比べて手紙を書く。	(読) 落書きされて、泣きたいような怒りたいようなすみれちゃんと自分を比べて手紙を書いている。 【手紙】
	7	・すみれちゃんの思いの変化を想像し、自分と比べて手紙を書くことができる。	・すみれちゃんの絵に対する思いやけすのをやめた理由を想像することができる。 ・思いが変化したすみれちゃんと自分を比べて手紙を書くことができる。	(読) 絵がかわいく見えてきたり、けしかけて、でもけすのをやめたりしたすみれちゃんと自分を比べて手紙を書いている。 【手紙】
第三次	8	・並行読書で読んだすみれちゃんの行動と自分と比べ、心に残ったことを手紙に書くことができる。	・心に残ったことをメモしていたカードから、一番心に残っていることを選び、自分と比べて手紙を書く。	(読) 一番心に残ったことを自分と比べて手紙を書いている。 【手紙】
	9	・書いた手紙を友達や4年生に紹介し、感想を聞いたり、感想を述べたりすることができる。	・手紙を2年生に紹介したり、感想を聞いたり、感想を伝えたりする。 ・手紙を4年生に紹介して、感想を聞く。	(読) 友達の心に残ったことについて、感想をもっている。【振り返り】

6 単元の指導計画（4年 全9時間）

次	時	目標	学習活動	評価基準【評価方法】
第一 次	1	・「三つのお願い」を読み、学習の見通しをもつことができる。	・自分の三つのお願いを考える。 ・感想文を書いた経験を話し合い、感想のまとめ方を学ぶことが分かる。	(関) 感想文を書くことに興味をもち、学習に取り組もうとしている。 【振り返り】
	2	・感想文を比べて、感想をもつ観点を整理することができる。	・感想文（モデル文）を比べて、感想をもつ観点を整理する。	(読) 感想文を比べて、どんな観点で感想を書くときよいかを見つけている。 【発表・ノート】
第二 次	3	・物語の大体の内容や特徴をとらえることができる。	・物語の大体の内容をとらえる。 ・繰り返し出てくる言葉に気付く。 ・地の文がノービーによって語られていることに気付く。	(読) いつ、どこで、だれが出てきて、何が起きたかを書いている。 (読) 「どんぴしゃりお願いがかなった」の繰り返しやノービーが語り手であることに気付いている。 【ノート】
	4	・三つのお願いとその結末を読み取り、ノービーの気持ちの変化に気付くことができる。	・三つのお願いとその結末を整理し、ノービーの気持ちを想像する。	(読) 三つのお願いとその結果を比べ、ノービーの気持ちの変化したことに気付いている。 【ノート】
	5 本 時	・ママの発言をきっかけに改めてビクターとの関係を見直したノービーの気持ちを想像することができる。	・ノービーの気持ちがどうして変わったのかを読み取る。	(読) ママの発言をきっかけにビクターにもどってきてほしいと願うようになったノービーの気持ちを想像している。 【ノート】
	6	・会話や行動、地の文から登場人物の性格を想像することができる。	・登場人物の会話や行動、地の文から性格を想像する。	(読) ノービー、ビクター、ママの会話や行動から性格を想像している。 【ノート】
第三 次	7	・読んだ感想をまとめることができる。	・最も強く感じたことを一文で書く。 ・感想に関連のある文章を明らかにする。 ・一文で書いたことについて、具体的にどのように感じたのか、なぜそう考えたのかを登場人物の気持ちの変化や性格などと関連づけて書く。 ・感想を表す時に使う言葉を一覧表から選ぶ。 ・400字程度で感想をまとめる。 ・読み返して、間違いやよりよくなるところを直す。	(読) 感想の中心を明らかにしながら、物語を読んだ感想を登場人物の気持ちの変化や性格などと関連づけて書いている。 【感想文】
	8	・感想の中心を明らかにしながら、自分の選んだ本の感想をまとめることができる。	・既習の学習を使って感想文を書く。	(読) 感想の中心を明らかにしながら、叙述と関連づけて感想を書いている。 【感想文】
	9	・物語を読んだ感想を友達や2年生に紹介して、一人ひとりの感想が違うことに気付くことができる。	・感想を4年生に紹介し、感想の似ている所や違う所、相手の良さを伝える。 ・分かりにくいところは、説明しながら感想を2年生に紹介する。	(読) 一人一人の感じ方には違いがあることに気付いている。 【振り返り】

7 本時の指導(5/9)

(1) 目標

りっぱなことをしようとしているすみれちゃんと自分を比べて手紙を書くことができる。	ママの発言をきっかけに改めてビクターとの関係を見直したノービーの気持ちを想像することができる。
--	---

(2) 展開

指導上の留意点	学 習 活 動	過程	過程	学 習 活 動	指導上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> ペアになった4年生に手紙を読むことで前時を想起させたり、本時への意欲をもたせたりする。 	1 前時想起 (1) すみれちゃんへの手紙を4年生に聞いてもらう。 2 学習課題を確認する。 りっぱなことをしたくなったすみれちゃんにお手紙を書こう。	導 入	導 入	1 2年生と学習を交流する。 (1) 2年生の発表を聞いて、観点に沿って感想を述べる。 2 学習課題を確認する。 (1) 今日の課題を確かめる。 ノービーの気持ちが変わったのは、どうしてか。	<ul style="list-style-type: none"> 観点を与えて、ペアになった2年生に感想を伝えさせる。 前時を想起させ、今日の課題を確かめる。
【手立て①】 サイドラインを引くことで、自分の考えの根拠となる言葉を明確にする。 <ul style="list-style-type: none"> ノートを広げたり、水をあげたりしたことは行動として確かめる。 	3 学習の見通しをもつ。 (1) 二の場面を音読する。 4 学習場面を読み取る。 (1) りっぱなこととして何をしたのかを読み取る。	展 開	展 開	3 学習の見通しをもつ。 (1) 学習の進め方などを確認する。 4 学習場面を読み取る。 (1) 学習場面を各自読みながら、その理由と思うところにサイドラインを引く。 (2) ノートに考えをまとめる。 (3) 黒板に自分の考えを書く。	<ul style="list-style-type: none"> 場面は4と5からさがすことを確かめる。 【手立て①】 サイドラインを引くことで、自分の考えの根拠となる言葉を明確にする。 【手立て②】 考えを視覚化して、お互いの考えや根拠を比べられるようにする。 授業者が来ない時には、互いの書いたことを交流させる。
<ul style="list-style-type: none"> 手紙を書く内容を示すことで、自分と比べて書けるようにする。 (評価) りっぱなことをしようとするすみれちゃんと自分を比べて手紙を書いている。 【手紙】	5 本時の学習のまとめをする。 (1) すみれちゃんへの手紙の書き方を確かめる。 (2) すみれちゃんに手紙を書く。 例) 今日すみれちゃんは、自分でノートを出したね。 自分で出すなんて、えらいなと思ったよ。 ぼくも自分でしゅくだいをする時は、気持ちがいいよ。	終 末	終 末	(4) ママの発言をきっかけにビクターとの関係を見直したことから気持ちが変化したことを確かめる。 5 本時の学習のまとめをする。 (1) 自分のまとめにみんなで確かめた考えを付け足す。 <ul style="list-style-type: none"> ママの言葉がきっかけ ビクターはすっごくいい友達 例) わたしもお父さんの言葉で～ 	<ul style="list-style-type: none"> 叙述からノービーがどのように考えるようになったのかを想像させる。 (評価) ママの発言をきっかけにビクターにもどってほしいと願うようになったノービーの気持ちを想像している。 [H] 自分の経験も想起させ、まとめに感想を付け加えさせる。
<ul style="list-style-type: none"> 手紙が書き終わったらペアで手紙を交流させる。 【手立て③】 学習への態度、言葉への気づきなど子どもの良さを認める。	6 本時の学習の感想を交流する。 7 次時の学習内容を確認する。	終 末	終 末	6 本時の学習の感想を交流する。 7 次時の学習内容を確認する。	【手立て③】 学習への態度、言葉への気づきなど子どもの良さを認める。